

季刊 ゆがの通信

2008年3月号

発行：ゆがの薬局

男性の更年期障害は「腎虚」から 中医男科で早めの対処が効果的です

男性の更年期障害

かつて更年期障害といえば女性のものとされてきましたが、男性にも更年期障害があることが研究で明らかにされてきました。西洋医学による男性の更年期障害の定義は、抑うつ、無気力、不眠、倦怠感、性欲減退、頻尿などがあります。中でも特に、日中の頻尿、性欲の低下、男性器の機能低下、筋力の低下による体型の変化は重要なサインであると考えられています。

中医男科の必要性

「中医男科（ちゅういだんか）」という言葉をご存じでしょうか。中高年男性によく見られる前立腺肥大症、前立腺炎、ED、うつなどの症状は従来別々の診療科で治療されてきましたが、「中医男科」はそれらを含む広範囲な診療科です。例えば中年うつ患者の自殺原因には男性更年期による男性ホルモンの減少があるということが最近わかってきています。そこで、泌尿器科でもなく、精神科でもなく、中高年男性の生活の質を向上させる対策をつとめる専門家（男科）が必要になってきています。

男性の症状と腎虚

東洋医学では、更年期障害の原因は「腎虚（じんきょ）」であるとされています。「腎虚」とは腎の機能が衰えて老化が進むことをいい、「腎陰虚（いんきょ）」と「腎陽虚（じんようきょ）」に分けられます。陰とは体内の潤い分や血液のような栄養物質をいい、陽とは取り込んだこの栄養物質を効率よく生命エネルギーに変える機能のことをいいます。これらが不足することを「虚（きょ）」といい、腎陰が不足すると、手足がほてる、のぼせ、ふらつく、めまい、口が渇くなどの症状が現れ、腎陽が不足すると、寒がる、冷える、多尿もしくは尿量が減り、むくむ、元気がない、夜間尿などの症状が現れます。

「腎陰虚」の中成薬



イスクラ産業
「八仙丸」

クラシエ薬品
「知柏地黄丸」

イスクラ産業
「杞菊地黄丸」

「腎陽虚」の中成薬



クラシエ薬品
「鹿茸大補湯」

更年期障害までいかなくても、尿の出が悪い、尿もれ、目がかすむ、免疫力の低下、性機能の低下などがみられるようでしたら、「腎虚」を疑うべきです。四〇―五〇代に多いこれらの症状は最近では若年層にも多くみられるようになってきています。

日本人は体質的に胃腸の弱い人が多く、栄養ドリンクや高カロリーローの食事で精力を補充しようとしても栄養分が十分に吸収されないうまま、胃もたれや下痢などを引き起こすことがしばしばみられます。

中医医学では胃腸に負担をかけずに腎を補う薬をおすすめしています。参馬補腎丸（シンバホジンガン）はシオウやニクシユウなどに加え、ゴミジ、オウギ、カンソウなど植物生薬で作られた中成薬で腎の精力を補います。



イスクラ産業
「参馬補腎丸」

上記のような症状には早めの対処が効果的です。中成薬は個人の体質などによって異なりますので是非ご相談ください。

「健康的にダイエット！」なら「マイクロダイエット」をお試しください

マイクロダイエット正規取扱店 **ゆがの薬局**

賀茂郡河津町浜149-4 TEL0558-34-0150
当店ウェブサイト <http://www.yugano-ph.co.jp>

